



新生 11 名を迎え、2016 年度がいよいよ始まりました。新 1 年生の担任は、三期生を見送ったばかりの横山義宏先生です。早速入学された保護者から入学式の感想を寄せていただきました。校舎ごとに行われた「春祭り」ではそれぞれ進級した児童・生徒たちが協力して行事を盛り上げました。

入学式を迎えて



お天気もよく、上着もいらぬほどぼかぼかと暖かった 4 月 9 日、待ちに待った入学式を迎えました。数日前に入学式を終えた子たちと比べ、長く感じられた春休み。当日の朝には「やっとこの日が来た！」という思いでいっぱいでした。晴れやかな気持ちで校舎に向かう道すがら、見事な桜の並木が私たちを出迎えてくれました。もう散り始めてはいたものの、桜の舞う中、スキップをする子どもたちを見ていると、まるで桜までもがお祝いしてくれているかのようでした。春休みにまた少し背が伸びたのか、どこから見ても「新一年生」に見えるものなのだなど、感心したりもしました。校内に入ると、美しいライターの音色が私たちを包んでくれました。幼稚園時代、幼児には「複雑でない旋律を」という意識があったため、奏でられる感情豊かなメロディーに、初めはびっくりさせられました。「ああ、ここは幼稚園ではないのだ」と目覚めさせられたような感覚です。そして入学式。お友だちが 2 人増え、11 人のクラスメイトが揃いました。入学式は、どれもが印象的で、忘れることができません。先生方や保護者による詩の朗読と歌は、まるで地面から湧き上がって来るような響きがして、何とも心地よい一体感を感じました。

担任の先生が紹介されるまでのお話には、9 年後の子どもたちの姿に思いを馳せました。担任の先生に名前を呼ばれ、張り切って出て行く子、ちょっと恥ずかしそうに返事をする子。先生と握手をしながら「おめでとう。よく来たね。」と声をかけられて、本当に嬉しそうにうなずき、誇らしげに歩いていたあの子の横顔。勢い余って隣の子とぶつかりそうになる子。一人ひとりに渡されるお花に心を奪われて、先生との握手を忘れて素通りし、花を受け取りに行った、我が子。どの子もやっぱりまだ 6 歳なんだと、微笑ましく見ていましたが、最初の授業を受けに先生と教室に移動する頃には、もうすっかりちゃんと一年生の顔になっているから驚きです。姿が見えなくなってしまった子どもたちに、なんだか置いて行かれてしまったような気持ちにもなりましたが、そんなことも言っていられません。子どもたちの冒険が、ついに始まったわけです。親もサポートに回らなければなりません。これからの 9 年間、子どもたちと一緒に成長できるよう、いろんなことを学び、努力をしていきたいと思えます。そして、最後に演奏してくださった「ハレルヤ」は今まで聞いたどのハレルヤよりも素晴らしく、美しく、心に響きました。卒業するまでの間に、きっと何度でも思い出すことでしょう。私たちの初めの一步を踏み出した、あの日の美しい光景を。

(新 1 年生保護者 松山ちかこ)



* 6年生の奈良、歴史旅行 *

今年の歴史旅行には、これまでのクラスにはなかった課題がありました。それは、「車椅子の仲間を含めた15人全員で、三日間を無事に過ごすこと」です。2月の終わりに骨折した女の子のお母さんは、「もう奈良には行けませんね。」と諦めていました。しかし、担任にはあくまでも「歴史旅行には全員で行く。」というイメージしか浮かばなかったので、「わたしは連れて行く方向で考えていきます。」と、お話ししました。

そして、出発日の1週間ほど前。お医者さんから、旅行に行っても良いという嬉しい許可が下りました。こうして晴れて念願通り、全員で奈良に行けることとなりました。

3月16日、水曜日。6年生15名は、歴史旅行の全行程を終え、無事新横浜駅に到着しました。足の不自由な仲間と行動を共にすることの本当の意味は、実際にその時にならなければ分かりませんでした。普段は気付かない、駅のとて「バリアフリー」とは言えない現実は何度も出合いました。その子自身でさえも、足の不自由な身体がどんなに自分の思い通りにならないものか、駅や電車の中のみならず、旅館の階段やお風呂、和室の部屋など、団体行動のありとあらゆる場面で思い知ることになりました。それでも、この3日間は「よいクラス旅行だった」と思えるのはなぜでしょう。

その理由に、怪我をした子どもが良く我慢したことが真っ先に挙げられます。移動には、付添いの先生方が快く手を貸してくださいました。そしてなによりも、他の14人が「自分たちは足の不自由な仲間とともに旅行しているのだ」という意識を持ち、常に気にかけていたことが大きかったと思います。

実際に砂利道を車椅子で移動するのに力を貸した友達は数人でした。それでも、この旅行は皆の強い気持ちの支えがあったからこそ、成功したのです。



飛鳥
石舞台古墳にて

2日目の晩に、毎年東大寺を案内してくださる奈良在住の飯田むつみさんが、フランスシターという珍しい楽器の演奏をしてくださいました。そして、その折に「華嚴経」という經典の中から二つの言葉を伝えてくださいました。

「**雑華嚴淨（ざっけごんじょう）**」天上世界が色とりどりの花や美しい音色で飾られているように、この世の生きとし生けるものすべてが尊く、かけがえのない存在であり、どれ一つとして同じ命はない、ということ。そのような尊い命で、この世は成り立っていると心得よ。

「**因陀羅網（いんだらもう）**」因陀羅（帝釈天の別名）が住む御殿の天井を飾っているのは、無数の結び目ひとつひとつに宝珠が留めてある網。その宝珠は透き通っていて穢れがないが、ひとたび宝珠のひとつに傷が付けば、周りの全ての宝珠にその傷が映しだされてしまう。一人一人の行為も、必ずすべてのものに影響を与えているのだと心得よ。

千数百年前からの東大寺のお坊さんの教えですが、このクラスがこの旅行で学んだことと深くかかわりがあり、こうした言葉を教えていただいたのも、決して偶然ではないと感じました。

今回の経験が、これから思春期への階段を登る子どもたちの良い糧となるであろうことを信じています。

（新7年生担任 長井麻美）



東大寺・戒壇堂で
飯田さんの説明を聞く



飯田さんによる
フランスシターのタペ

春祭り

[高学年春祭り] 6～9年生

4月8日、ポカポカしたいいい天気の春の日。桜の花の下、霧が丘校舎で例年のクラス写真の撮影がありました。その後、6年生から9年生の子どもたちは十日市場校舎に戻り、劇遊びで春祭りを祝いました。子どもたちは学年縦割りで5グループに分かれ、1グループ9～10人の子どもたちは何もないところからアイデアを出し合って劇を作りました。教員から出された今年のお題は『はじまり』でした。子どもたちは20分くらいの間でお話を作りリハーサルをしていました。さて、いよいよ発表です。「先生が風邪でなかなか新学期が始まらない6年生クラスの劇」、「コンビに新しく来たバイト君たちが店長の目を盗んで商品を食べてしまう話」（これには後で先生からお咎めの言葉あり）、「幸せいっぱい結婚式を挙げた若い男女が新婚旅行に行った場面」、「初めてのお使いでまんじゅうとアイゴー（電子機器）を間違えた話」、「我が校にやってきた転入生が初めてのオイリュトミーその他のことに戸惑う話」といった内容でした。上級生が上手くまとめているグループ、あまりそうでないグループ、本番を演じながらも「この劇は何をやるうとしているのか・・・」と悩みつつのグループ、声や表情がよく出ていた子ども、お題にぴったりの劇、みんなの笑いを誘う話と様々でした。劇遊びは十日市場校舎の伝統のひとつとなっているとのことです。そこに低学年の頃から劇好きのクラスだった新6年生が仲間入りしました。今回はなんとなくおとなしい印象でした。十日市場校舎に引越してまだ数日なので、6年生たちは周りの様子を伺っているような雰囲気です。すぐに水を得た魚のように上級学年との劇コラボを楽しむようになると思います。大人びて見えるであろう上級生たちを見上げつつ思いっきり力を発揮してほしいと思います。

(新6年生担任 森田修)

[低学年春祭り] 1～5年生

2年ぶりに晴れた春祭り。春祭りはやっぱりお日様のもとでなくちゃ、と喜ぶ私の傍らで、入学式後初めて登校する1年生の長男は「今日は何があるの?」と出発を待ちきれない様子。一方4年生の姉は「雨の方が隠す場所を難しくできるから楽しいのに……」とぶつぶつ。春祭りは新1年生と霧が丘校舎の5年生までの対面式を兼ねた、春の到来を祝うお祭りです。2年生が毛糸で作ったポンポンのうさぎ、3年生がフェルトを縫い合わせたひよこ、4年生が羊毛で作ったことりを校庭のあちこちに隠し、5年生のサポートのもと1年生はそれらを探しまわります（雨天の年度は各学年の教室を1年生が探しに行くので、ランドセルやら手仕事袋に隠すことができ、姉はそれが楽しかった思い出として残っています）。緊張気味だった1年生も見つけるごとに笑顔が溢れ、硬さがほぐれてきます。上級生は自分のがすでに見つかったか大騒ぎ。1つ見つけて満足し、残りの2つを探しに行かない1年生を困った顔で誘うペアの5年生。まんさくの花が咲き乱れる中、子どもたちが校庭中を飛び回る幸せな光景です。最後にことりパンをもらって、春祭りはおしまい。このことりの形のパンは保護者が作ったと聞かされびっくりした、長女が1年生の初登校日。毎年この季節にことりパンを「今年こそかわいく柔らかく」と、並々ならぬ思いで焼くこと3年。成長していく子どもたちを見ながら、私もまだまだ成長するぞと来年のことりパンでのリベンジを誓う春の1日。

(新1,4年保護者 出口依子)



オープンデイ/学園祭

6月11日(土)10:00~15:00

インフォメーション

公開講座

「豊かに育つ子どもたちの話」

日にち：5月15日(日)

時間：10:00~12:30

講師：神田昌実(二期生,現2年担任)

二期生保護者

場所：横浜市都筑公会堂 第二会議室

料金：900円(NPO会員700円)

*保育はありません

2017年度入学説明会

[A] 6/25(土),9/17(土),9/24(土)

[B] 7/2(土)9/24(土),10/1(土)

場所：[A] 霧が丘校舎 14:00~16:00

[B] 十日市場校舎 10:00~12:30

参加費：無料。必ず事前に予約ください。

[A]→[B]の順で両方の会に出席済の方に
願書(1,000円)を配付します。

※詳細はホームページでご確認ください

※編入ご希望の方はお問合せください

茶話会/校内見学会

茶話会

5/18(水),7/10(日),9/4(日),
11/7(月),2017年2/11(土祝)

校内見学会(金曜日・週末)

5/22(日),6/17(金),9/9(金),
10/21(金),11/18(金),

2017年1/20(金),2/17(金)

参加費：無料

※日程により時間が異なります。

詳細はHPでご確認上、事前にお申込み
ください。

連続講座「シュタイナー学校を 知りたい！」

日程：①5月29日(日)親子体験

②7月10日(日)大人向け体験授業

③7月23日(土)大人向け体験授業

④9月4日(日)講演会

時間：10:00~12:00

場所：①②④霧が丘校舎③十日市場校舎

料金：全4回5,000円

1回1,500円(NPO会員1,300円)

※②~④保育有。事前に予約ください。

大人のオイリュトミー

Aコース：健やかな体作り

講師：猿谷利加(オイリュトミー専科)

5/9,6/20,7/4,9/12,10/3,11/7,12/5,

2017年1/23,2/13

Bコース：音と一緒に体を動かす

講師：大西敬子(オイリュトミー専科)

5/23,6/27,7/11,9/26,10/17,11/21,

12/12,2017年1/30,2/20

時間：10:00~12:00

場所：霧が丘校舎

料金：1回1,500円(NPO会員1,300円)

※詳細はHPでご確認の上、事前にお申し
込みください。

Vege&Fork Market (ベジ&フォー クマーケット) に出店します!

新緑が気持ち良い野外イベントです。

お子さんと楽しめるワークショップに
ぜひご参加ください!

日時：5月21日(土)22日(日)

10:00~16:00

場所：麻生環境センター

(小田急線柿生駅南口徒歩約10分)

詳細はHPでご確認ください。

<http://vegeforkmarket.com>

連続講座「世界とつながる シュタイナー学校の手仕事」

①ファンタジーの力と模倣を通して

①5月15日(日)13:30~16:00

②6月19日(日)10:00~12:30

講師：三品恭子(手仕事専科)

③9歳の危機 子どもの内面

③7月18日(月祝)10:00~12:30

④9月18日(日)10:00~12:30

講師：柳本瑞枝(手仕事専科)

⑤思春期の子に伝えたいもの

⑤11月6日(日)10:00~12:30

⑥12月4日(日)13:30~16:00

講師：神田昌実(2年生担任・手仕事)

場所：霧が丘校舎

料金：全コース8,000円

1コース(2日間)3,000円(会員割引有)

*材料費実費(500~700円)

※用意する持ち物などあります。詳細はHP
でご確認の上、事前にお申込みください。

◆NPO会員、NLメンバー案内

正会員・賛助会員：12,000円

ニューズレターメンバー：2,000円

継続登録、2016年度新規登録、絶賛募

集中です。詳細は事務局へお問い合わせ

ください。

星の金貨

学園ショップでは、季節のポストカード・
ハーブティー・木工品・編みぐるみ・
書籍など取り揃えて皆さんをお待ちし
ております。

どうぞお立ち寄りください。

お問い合わせ

e-mail:hoshi-kinka@freeml.com

ブログ

<http://hosinokinka.blog100.fc2.com/>

横浜シュタイナー学園

Newsletter 第90号

2016年4月28日発行

編集：広報の会

発行：NPO法人 横浜シュタイナー学園

<https://yokohama-steiner.jp>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替：00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店(せとわらわ店)当座0130702